

住民×議会 みんなで未来を語る会 報告書

開催日時 令和7年10月24日（金）19時30分～

開催場所 リブラ若狭 講堂

テーマ	どうなる?!町の農林水産業
出席議員	速水真由子議員 松本弘康議員 藤田正美議員 熊谷勘信議員
参加者数	7 人
課題	猛暑や気候変動による農作物への影響、海の資源変動 獣害（イノシシ・シカ・クマ）の増加と駆除制度の硬直性 後継者不足・担い手高齢化と耕作放棄地の拡大 農機の高コスト問題（更新負担、リース制度不足、共同利用のトラブル） 補助制度や行政支援が現場に合っていない 行政がイベントに偏重し、現場支援が遅れている
意見・方向性等	使われていない農機や土地の情報が見える化し、マッチング 農機リース制度の導入・共同利用のルール化 個人農家への支援制度の新設 獣害対策の予算や制度を現場仕様に改善 行政の支援を「イベント型」から「現場課題解決型」へ転換 請願制度や傍聴改善など、町民が議会に参加しやすくする仕組みづくり 参加者の多くが、 「田園風景を守ること」を地域の将来像の軸にすべきと合意。 また、以下の点が繰り返し挙げられた。 法人だけに任せる形でも、地域に丸投げでも続かない 地域と担い手と行政の協働モデルが必要 女性や都市部人材の農業参入も重要な資源